

主題：信徒

メッセージ 41

彼らの現在——神聖な三一の神聖な分与を団体的に経験する  
—の立場の上ですべてを含む—を経験し、実行することによって

聖書：申 12:5-8, 11-14, 17-18, 21, 26-27. 14:22-23. 16:16

I. 聖書の中の一は、すべてを含む—であって、神を表現します。分裂は、すべてを含む  
分裂であって、サタンを表現します：

- A. 三一の神の一、すなわち、キリストのからだの一は、神のエコノミーの中で、また神のエコノミーのためにキリストがわたしたちにとって何であるかのすべてを含んでいます。この一の実行、すなわち、同じ心・思いは、新約におけるあらゆる祝福のマスターキーです——詩第 133 篇. エペソ 4:1-6. 使徒 1:14. I コリント 1:9-10. ピリピ 1:27. 2:2。
- B. サタンの分裂、すなわち、大いなるバビロンの分裂は、あらゆる消極的な事物を含んでいます。この分裂は、地に深く根を下ろし定着してしまった大きな木のようなものです。そして、枝を茂らせ、そこにサタンの邪悪な霊どもと、彼によって動機づけられた邪悪な人や邪悪な事物が宿っています——マタイ 13:31-32, 4, 19. 創 11:1-9. 啓 17:1-6. 18:2. ヨハネ 17:15。
- C. サタンと彼の世界の主要な病状は、分裂という「邪悪」(15 節)です。三一の神と彼の住まいの主要な属性は、一という「祝福」(詩 133:3. 参照、創 12:2. ガラテヤ 3:14)です。
- D. 日々わたしたちは、分裂という「邪悪」を持つ自分自身から出て来て、神聖な「わたしたち」の中に、すなわち、一という祝福としての三一の神の中に入らなければなりません。またわたしたちは彼の中にとどまり、彼の団体の表現とならなければなりません。もしわたしたちが継続して御言に触れ、日々、その霊に触れていただくなら、わたしたちは聖別され、自分自身から、すなわち、わたしたちの古い住まいから出て来て、三一の神の中に、すなわち、わたしたちの新しい住まいの中に入ります——ヨハネ 17:15, 17, 21. 15:5. エペソ 5:26。

II. 申命記第12章が啓示しているのは、神の選ばれた唯一の場所で、神と共にキリストを享受することです。それは、神の民のすべてを含む—を守るためです——5-8, 11-14, 17-18, 21, 26節. 参照、I コリント10:6, 11. ローマ15:4：

- A. イスラエルの子たちは、自分たちの選んだ場所で神を礼拝したり、神にささげたささげ物を享受することが許されていませんでした(申 12:8, 13, 17)。彼らは、神の選ばれた場所、すなわち、神の御名、神の住まい、神の祭壇がある場所で、神を礼拝し(5-6 節)、彼らの十分の一、ささげ物、犠牲をそこに持って行き、神にささげるべきでした(5, 11, 14, 18, 21, 26-27 節. 14:22-23. 15:19-20. 16:16)。
- B. 申命記第 12 章における神を礼拝する神の選ばれた唯一の場所が表徴していることは、地方の立場にあるわたしたちの集会在、実行の面において一つからの表現のためであり(エルサレムによって表徴される)、また現実の面において一つからの実際のためであるということです(エルサレムの内側にあるシオンによって表徴さ

れる)——詩 48:2. 50:2. 啓 1:11. 2:7。

Ⅲ. 神の礼拝に関する新約の啓示は、次の点において申命記第12章の啓示と一致していません：

- A. 神の民は常に一であるべきです。彼らの間には、分裂があるべきではありません——詩第133篇. ヨハネ17:11, 21-23. I コリント1:10. エペソ4:3。
- B. 神の民が集まるべき唯一の御名は、主イエス・キリストの御名であり、その実際はその霊です。他のどのような名称を用いても、宗派的であり、分裂的です。これは霊的姦淫です——申 12:5. マタイ18:20. I コリント1:12. 12:3. 啓3:8。
1. 「イエス」という御名は、「エホバ救い主」を意味します。エホバという御名は「わたしは、『わたしはある』である」を意味します——マタイ 1:21, 23. 出 3:14. マルコ 10:45. ルカ 22:26-27. 12:37。
2. わたしたちは彼の御名、すなわち、エホバという御名からあらゆる種類の供給を得ることができます。神の御名は神のパーソンです。神の御名のパーソンは、すべてを含むイエスの霊、エホバ救い主の霊としてのキリストご自身です——使徒 16:7. 箴 18:10. ローマ 10:12-13。
- a. 「エホバ・オセニユウ (*Jehovah-‘osenu*)」は、「エホバ、わたしたちの造り主」を意味します——詩 95:6。
- b. 「エホバ・エレ (*Jehovah-jireh*)」は、「エホバは備えられる」、あるいは「エホバは取り計らわれる」を意味します——創 22:14。
- c. 「エホバ・レペカ (*Jehovah-ropheka*)」は、「あなたをいやすエホバ」を意味します ——出 15:26。
- d. 「エホバ・ニシ (*Jehovah-nissi*)」は、「エホバはわたしの旗である」を意味します—— 17:15。
- e. 「エホバ・メカデシュケム (*Jehovah meqaddishkem*)」は、「あなたを聖別するエホバ」を意味します—— 31:13. レビ 20:8。
- f. 「エホバ・シャローム (*Jehovah-shalom*)」は、「エホバは平安である」を意味します——士 6:24。
- g. 「エホバ・ロイ (*Jehovah-ro' i*)」は、「エホバはわたしの牧者である」を意味します——詩 23:1。
- h. 「エホバ・チデヌ (*Jehovah-tsidqenu*)」は、「エホバはわたしの義である」を意味します——エレミヤ 23:6。
- i. 「エホバ・ツェバト、あるいはエホバ・サバス (*Jehovah-tsebaot or Jehovah-sabaoth*)」は、「万軍のエホバ」(すなわち、軍隊の)を意味します——サムエル上 1:3. エレミヤ 2:19。
- j. 「エホバ・シャーマ (*Jehovah-shamma*)」は、「エホバはそこにおられる」を意味します——エゼキエル 48:35。
- C. 新約において神の住まい、神の住まわれる場所は、特別にわたしたちのミングリングされた霊の中に、すなわち、神聖な霊によって再生され、内住されたわたしたちの人の霊の中に設けられています。わたしたちは神を礼拝する集会の中で、わたしたちの霊を活用し、あらゆる事をわたしたちの霊の中で行なわなければなりません

——申12:5. ヨハネ4:21-24. I コリント14:15。

D. わたしたちは神を礼拝するとき、祭壇によって表徴されるキリストの十字架を真に適用し、肉、自己、天然の命を拒絶し、ただキリストをもって神を礼拝しなければなりません——詩43:4前半. マタイ16:24. ガラテヤ2:20。

E. 神が彼の礼拝のために選ばれた場所は、キリストの豊富の享受で満ちている場所であり、また喜びで満ちている場所です——申12:7, 12, 18. 14:23. エペソ3:8. ピリピ4:4. I コリント14:3, 4後半, 26, 31。

**IV. わたしたちはどこにしようとも、わたしたちの霊の中で、十字架をもって、主の御名の中へと集められるべきです。もしわたしたちすべてがこうするなら、わたしたちは異なる地方で集会していても、同じ場所で集会するでしょう。この同一の場所が、唯一の立場です——申12:5-6. エレミヤ32:39 :**

A. 外見上は、わたしたちは地理によって分けられています。なぜなら、わたしたちは、聖書に基づく地方の立場の上で、全世界の別々の都市で集会しているからです。これは、一つの都市に一つの召会、すなわち、一つの都市にはただ一つの召会があるということを実行することです——使徒8:1. 13:1. 啓1:11。

B. 実際上は、地理上において分かれていても、わたしたちはみな同じ場所で集会します。すなわち、主イエスの御名の中で、わたしたちのミングリングされた霊の中で、十字架をもって集会します。これが一であり、これが神に対する正しい礼拝の立場です :

1. 多くのクリスチャンは自分のえり好みによって分裂しています。主の回復の中では、わたしたちは自分のえり好みのためであってはならず、実際の霊である主の臨在のためであるべきです。この霊は、彼の御名の実際です——マタイ18:20. I コリント1:10. 出33:14。

2. 申命記第12章にある予表の成就是、地理上の場所にあるのではなく、わたしたちの霊にあります——ヨハネ4:21-24。

3. 召会の入り口には十字架があります。わたしたちは召会として集会するためには、十字架を経験して、自己を十字架につけ、「神の知識に逆らい立っている議論や、あらゆる高ぶりを破壊し」、キリストだけを高く上げなければなりません。それによって彼は万物の中ですべてとなります。それは神の表現のためであり、また彼のすべてを含む一の唯一の証しのためです——マタイ16:24. I コリント2:2. II コリント10:3-5. コロサイ1:10, 18後半. 3:10-11。

**V. わたしたちは今日の勝利者となるために、一の立場の上で神と共にキリストを享受して、キリストを展覧し、召会を建造し、キリストの花嫁を備えなければなりません——マタイ16:18. 啓19:7 :**

A. わたしたちは、個人的にキリストの上で労し、キリストを享受する生活をする必要があります。それによってわたしたちは、集団的に共に彼を享受して、キリストのからだを神の家として建造し、神に表現を得させ、また神の王国として建造して、神に支配を得させます——申 12:15, 5, 8, 11, 13-14, 17-18, 21, 26-27. 14:22-23. 15:19-20. 16:16-17. I コリント 14:3, 4後半, 26, 31. ローマ 14:17-18。

B. 神のみこころは、わたしたちがキリストを享受することです。わたしたちはあらゆる

る状況において、キリストを享受しキリストを経験することを尋ね求めなければなりません——ヘブル 10:5-10. ピリピ 3:7-14. 4:5-8。

C. キリストは無限に豊富です。しかし、今日の召会は貧しさの中をはいつくばっています。なぜなら、主の子供たちが怠惰であるからです——箴 6:6-11. 24:30-34. 26:14. マタイ 25:26, 30. I コリント 15:58。

D. わたしたちは、わたしたちの良き地であるキリストの上で労しなければなりません。それはわたしたちが彼の豊富から産物を収穫し、召会の集会にもたらして、ささげるためです。こうして集会は、キリストの豊富の展覧となり、すべての参加者が神の御前で、神と共に、キリストを互いに享受するものとなり、聖徒たちと召会を建造します——申 14:22-23, 16:15-17. I コリント 1:9. 14:3, 26, 31。

**VI. わたしたちは今日の勝利者になるためには、一の立場、すなわち、神の唯一の選びを維持しなければならず、キリスト以外のどんなものも高く上げてはなりません。主の回復の中では、わたしたちはキリストを、キリストだけを高く上げます——コロサイ 1:18後半：**

A. すべてを含む一を回復し、保つために、わたしたちは高き所、すなわち、キリスト以外のものが引き上げられている、高く上げられた所を破壊しなければなりません——申 12:1-5. 列王上 11:7-8. 12:26-31. 民 33:52. 啓 2:4. II コリント 4:5. 10:5。

B. 神の民が荒廃し墮落してしまった内在的な原因は、キリストが彼らによって高く上げられていないことです。彼らはあらゆる事において彼に第一位、第一の地位を与えていません——詩 80:1, 3, 7, 15-19. 74:1。

C. 荒廃から復興される道は、キリストを高く上げることです。一の立場の上で神と共にキリストを享受することは、キリストが神の民によって正しく評価され、高く上げられるときはじめて、維持され、守られることができます——I コリント 2:9. II ペテロ 1:8, 2:7. 参照、申 28:45, 47. 30:6, 19-20。